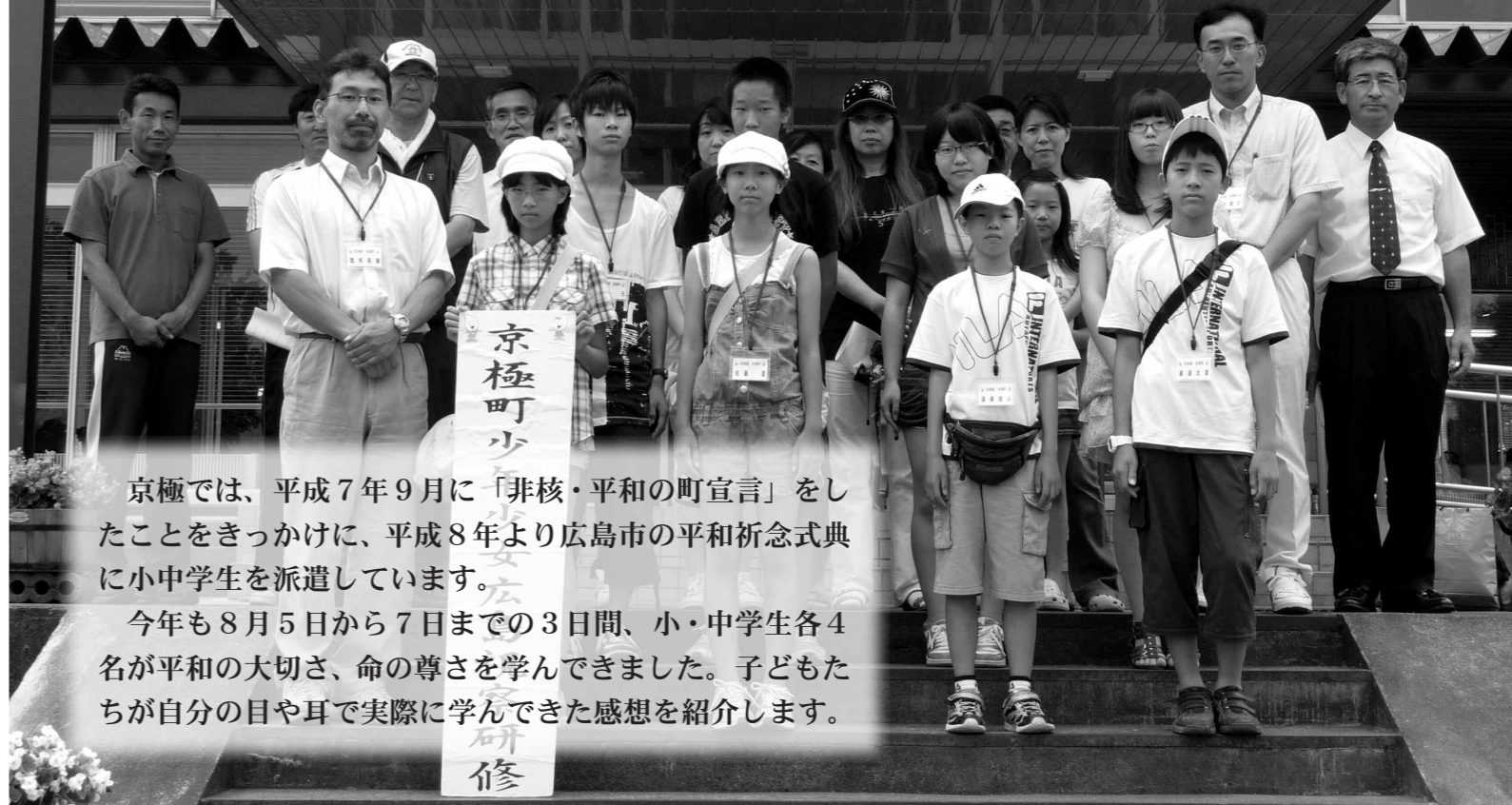


第15回 少年少女広島視察研修



京極では、平成7年9月に「非核・平和の町宣言」をしたことをきっかけに、平成8年より広島市の平和祈念式典に小中学生を派遣しています。
今年も8月5日から7日までの3日間、小・中学生各4名が平和の大切さ、命の尊さを学んできました。子どもたちが自分の目や耳で実際に学んできた感想を紹介します。



広島視察に行つて
京小六年 藤波 太喜

8月5日から8月7日まで広島視察研修に行きました。広島は暑いと聞いていたのに思ったより暑くありませんでした。

1日目と3日目は移動でした。2日目はメインの研修の1日でした。

まず、平和祈念式典に参加しました。人でいっぱいでした。原爆を投下したアメリカの代表が、初めて来ました。アメリカの代表が来たという事は、アメリカも少しは原爆のおそろしさをわかってくれたんだという気がしました。もう1つおどろいた事があります。65年たった今でも、原爆の被害で亡くなる人がいることです。原爆という兵器は、悪魔のような兵器だと思います。さらにもう1つおどろいた事は、ぼくと同じ学年の子供代表の平和へのちかいが、すごく立派で、平和への気持ちが強いと思いました。

次に資料館を見学しました。そこでは、ぼくの知らない事がたくさんありました。特に、原爆の所有数の多さにおどろきました。一番多いロシアが4834個、アメリカが2702個、その後フランス、中国となっていました。ぼくはせいぜい100個くらいかなあと思っていたのに、

その何10倍もあるなんてこわいと思いました。さらに、今紹介した国全てが、第二次世界大戦の勝ち組と知った時にはすごくおどろきました。また、全身やけどをした人の模型の前を通りすぎた時に、「そう、あんなふうにはたたくさんの人が歩いてたの...」と言う声がありました。その声は、被爆者のものでした。しかもその声が泣きそうでした。そんなに大変だったのかと改めて思いました。

その次は、被爆体験者の体験談を聞きました。資料館では学べない事もたくさん学べました。原爆が投下されたあと、先に助けてもらえたのは、若い男の人だったそうです。理由は兵力になるからです。そして、今ある原爆は、広島に投下された原爆よりすごく威力が大きく、広島のは「花火」くらいだそうです。広島に投下された原爆でも26万人の命をうばうなど大きな被害をあたえるのに、それが「花火」ってどういう事？と思いました。

そして最後に、宮島を観光しました。ぼくが広島に行つて、一番思った事は、もう二度と原爆を投下してはいけない、もう二度と戦争をしてはいけないという事です。

広島から帰つてきて、新聞に被爆者の話のつていました。「自分が



広島視察研修を
ふりかえつて
京小六年 米山 若那

戦争は決して起こしてはならないものだと思います。

私が広島に行つて学んできた事は、沢山あります。

資料館では、原子爆弾の投下前と投下後の広島県を比べたものを見ましたが、投下後は、大きな建物もなく、家もないので、焼けこげた土地になっていました。その大きな建物の残りは原爆ドームです。原爆ドームは形から商工会館と思われます。今もあるのは、原爆の事を忘れないために残してあるそうです。原爆を落とされたあとの様子を見て、私は「こわい」と思いました。

核兵器の数は、ロシアが5189発分、アメリカが4075発分、フランスが348発分です。この他に、パキスタン、中国、インドなどの国も核兵器を持っています。たった一発の原爆で広島が大変な目にあつたのに、それを何百個、何千個も持っているなんてそれはおかしいと思います。どうしてこんなものを作つたのか分かりません。

広島に投下された原爆の名前は、最初は「シン・マン」(やせ男)と言われていて、でも、計画より短く



生きているという事は、思い出したくはないが、みんなに原爆の事を伝えなければいけない。」と書いてありました。ぼくの京都のひいおじいちゃん、戦争の事を聞いても話してくれないから、心の傷は、そうとうひどいんだと思いました。



広島視察研修に参加して
京小六年 佐藤 温

私は、8月5日から8月7日まで広島に行つてきました。この経験で色々な事を学びました。

5日に広島に着いて、飛行機から降りたとたん、モワツとした湿度の高さに北海道との気候の違いを感じ、おどろきました。夜には広島名物のお好み焼きを食べました。いつも食べているお好み焼きとは中身が違つて、そばやキャベツ等が段々に重なつていて、いつもと違う本場の味に大満足しました。

6日は、千羽鶴を原爆の子の像にささげました。千羽鶴には、学校のみんなの思いが詰まつているので、みんなの気持ちを代表してケースに納めました。たくさんの千羽鶴がささげられているのを見て、自分たち

と同じ思いで一羽一羽心をこめて折つてあるんだなあと思ひ、改めて平和が長く続くといいなと思ひました。その後、式典では遺族代表や被爆者代表のあいさつがありました。原爆のおそろしさや被爆者の悲しみが伝わってきました。次に広島平和記念資料館に行きました。そこで地球の上に核兵器がのつている模型を見ました。世界には今でも約1万発の核兵器があり、新たに核兵器の開発を進めている国もあるそうです。

地球上に核がある事を私はおそろしいと思ひました。そして核兵器の無い平和な世界は、いつになったら実現するのかと思ひました。広島に投下された原子爆弾「リトル・ボーイ」は、長さ約3メートル、重さ約4トンあるそうです。実物を見て、その大きさにびっくりして、平和な毎日を送っている私にとって想像のできない物でした。昼食をとつた後、被爆者の話を聞くことができました。原爆が落とされた当日はすごく暑かつたそうです。話をしてくれた池田さんはその時外にいて、空を見上げてみると、見たことのない物体がうかんでいて、「ドーン」という音と同時に600メートル空中で原爆がさくつたそうです。この話を聞いている時、自分の上で原爆が爆発したらと考えると、こわくてたまり